

バザー収益、福祉に

とうしん
なでしこ 多治見市社協に寄付

東濃信用金庫の女性職員17人でつくる女性活躍推進プロジェクトチーム「とうしんチームなでしこ」が18日、イベントで集めた義援金を多治見市社会福祉協議会に贈呈した。

同チームは2013年に結成。11月に同市虎溪山町のとうしん学びの丘エールで「とうしんエール感謝祭」を開いた。チャリティーバザーの売上げ、抹茶の呈茶代が計16万6500円集まり、全額を義援金にすることを決めた。

それぞれ5万円ずつを、信金中央金庫を通じて今年の豪雨災害と北海道胆振東部地震の支援に充て、残りの6万6500円を同協議会に寄付した。

同市太平町の市総合福祉センターであった贈呈式で、チーム代表の横山幸子さんが「地域で困っている人に使ってもらいたい」と目

録を同協議会の今枝寛彦会長に手渡した。今枝会長は「一人親家庭」した。（山本貴史）



今枝寛彦会長(左から2人目)に目録を渡す横山幸子さん(同3人目)＝多治見市太平町、市総合福祉センター